

パーソナルウォータークラフト・レジャーの
健全な発展を目指して

やさしく乗ろうよ、
人も自然も大切に。



NPO法人
パーソナルウォータークラフト安全協会
Personal Watercraft Safety Association

やさしく乗ろうよ、人も自然も大切に。

水上オートバイでのマリンレジャーを安全に楽しく



水上オートバイを楽しむ皆様には常に周囲を気配る思いやりの心、
自然をいたわる優しい気持ちを。

次世代にこの素晴らしい水辺と健全なマリンレジャーを引き継ぐために、
パーソナルウォータークラフト安全協会からのお願いです。

設立趣旨

近年の海洋レジャー人口の普及に伴って、海難事故も多発しておりましたが、その中でも若い人たちに人気のあるアクティブな諸のスポーツである「パーソナルウォータークラフト(水上オートバイの別称、以下 PWC とする)」に関連した事故は増加傾向にありました。又それらの事故に加えて、ゴミ・騒音・無断駐車等の地域社会や漁業従事者とのトラブルも多発していました。一方、PWC は、その商品特性から愛好家は増えており、これらの具体的な安全活動の展開が必要とされ、PWC の販売業者が中心となって 1990 年に任意団体として「パーソナルウォータークラフト安全協会(以下 PW 安全協会)」を立ち上げました。

以来、各地域で監督官庁のご指導をいただきながら安全啓発活動を展開してきました。しかし、販売業者中心の啓発活動だけでは安全対策としては限界があること、また自然保護意識がより高まっていく社会気運の中で、より地域と密着し、PWC 利用者及び市民も参加した形での活動が必要とされています。こうした状況を受けて、2007 年に、幅広く市民の参加を働きかけながら、更なる利用者への安全普及啓発活動、事故防止とマナー向上及び自然環境保全活動を展開するために特定非営利活動法人に移行いたしました。

以降、国土交通省・海上保安庁をはじめ各地方自治体のご指導、協力の下に、安全啓発の活動を推進。利用者のマナー・モラル向上を図り、自然及び社会環境の保全に努め、また近年はパーソナルウォータークラフトを用いて海辺の安全を守る活動も拡充しております。

今後も健全なるパーソナルウォータークラフトスポーツの普及・発展は勿論の事、地域社会により貢献できる活動をさらに促進して参ります。

特定非営利活動法人
パーソナルウォータークラフト安全協会

会長 竹長 潤

活動紹介

PWSA では全国各地の主要な水域において、安全操船に向けた啓発パンフレットの配布や
関係諸省庁および関係団体と合同パトロールを実施し、安全 / マナーの啓発を行なっています。
また海岸の清掃活動やマリンスポーツ開催時の救助支援活動・協力を実施しています。

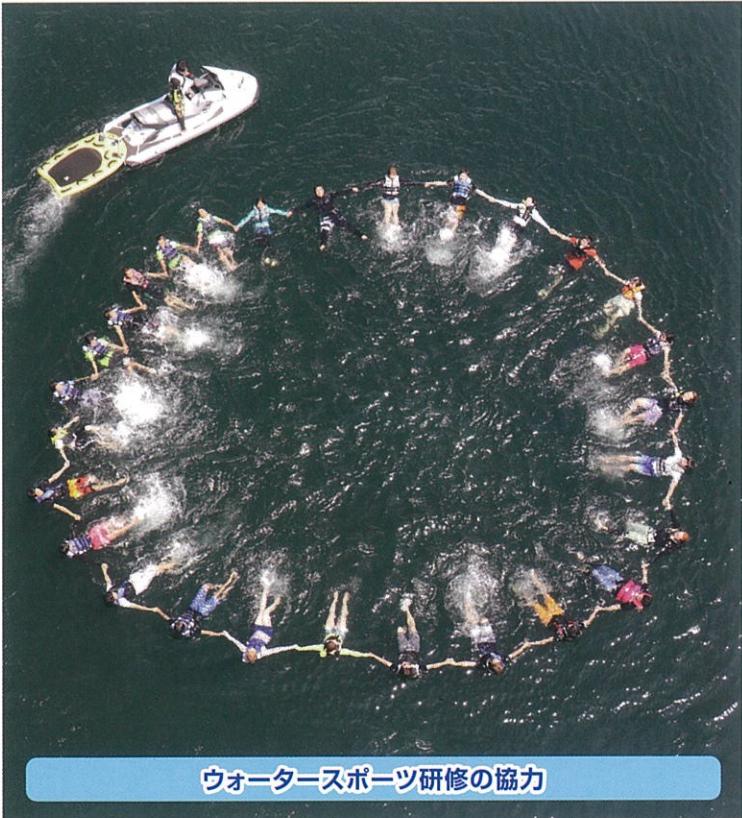
2017年度は全国において
291回の安全パトロールを
実施いたしました。



自治体の清掃活動に PWSA 会員が協力



安全啓発パトロール



ウォータースポーツ研修の協力



国土交通省・警察・海上保安部・小型船舶検査機構との合同パトロール



ジュニア海洋教育の協力



乗船体験会の開催



トライアスロン大会でのレスキュー支援



海上安全指導員認定式



ホームページでの安全啓発

PWSA組織

全国8地域に地方本部を設置、地方本部の傘下に支部を設け活動を実施しています。



■一般会員

314社

パーソナルウォーターラフト関連製品を取り扱う個人及び法人販売者

■特別賛助会員(一般社団法人 日本マリン事業協会)

3,107名

この法人の目的に賛同して入会する個人

■賛助会員

1社

この法人の目的に賛同して入会し、事業を賛助する個人及び団体

一般社団法人 日本マリン事業協会

■特別会員

3社

パーソナルウォーターラフトの製造者および元売販売者

株式会社カワサキモータースジャパン BRPジャパン株式会社 ヤマハ発動機株式会社

※2017年12月現在

社会貢献活動

シーバードジャパンへの参画



シーバードジャパンとは

水上オートバイ業界だけでなく、ウインドサーフィン、各レスキュー活動団体など、海辺(水辺)を愛する人たちが共に協力し合い、水辺のパトロールやレスキュー、環境美化など、海・川・湖を守る活動を行なっています。

水上オートバイ業界が取り組むシーバードジャパンの概要

水上オートバイ業界が取組むシーバードプロジェクト事業は、公益財団法人日本財団、特定非営利活動法人日本青バイ隊、一般社団法人ウォーターリスクマネジメント協会、特定非営利活動法人パーソナルウォータークラフト安全協会(PWSA)の4者が幹事団体として推進する共同プロジェクトで、各地域ごとに、安全啓発(ゲレンデパトロール)・環境美化(ビーチクリーン)活動など行っています。

シーバード事業活動紹介



シーバード壱岐 体験乗船



シーバード気仙沼 トライアスロン



シーバード富津&三管江戸川 合同パトロール



シーバード葉山 ライフセーバーと遊ぼう



シーバード掛川 水難訓練



シーバード西浜 ビーチクリーン



公益財団法人日本財団



(一社)ウォーターリスクマネジメント協会
隊員養成講習



日本青バイ隊
シーバード活動統括



NPO法人
パーソナルウォータークラフト安全協会
Personal Watercraft Safety Association
やさしく乗ろうよ、人も自然も大切に。

対人賠償責任保険の加入促進



パーソナルウォータークラフト安全協会(以下PWSA)は、民間損害保険会社と連携を図り、パーソナルウォータークラフト(水上オートバイ、以下PWC)専用の「PWSA会員向け保険制度」を導入し、2007年4月1日より施行。近年PWCによる事故が増加傾向にある一方、保険制度の普及・浸透は不十分で、全国のPWC保有台数約65,000艇に対し、普及率は極めて低い状況であり、重大事故発生時の事故被害者の損害賠償問題でトラブルも発生しています。このような状況の中、事故発生被害者の救済を図り、損害賠償保険を普及させるため、PWSA特別会員である国内販売メーカー((株)カワサキモータースジャパン、BRPジャパン(株)、ヤマハ発動機(株))と民間損害保険会社との連携を図り、PWSAの会員(特別賛助会員)を対象とした新たな保険制度「PWSA 対人賠償責任保険制度」を導入しました。

PWSA対人賠償責任保険加入状況

2017年12月末現在の加入総数(有効数)は2,695艇、加入率は約77%となった。

PWSA団体保険加入状況

団体保険は前年に商品付帯保険加入者への継続更新および既存艇(中古艇)所有者を対象にした団体保険。
2017年12月末現在の加入者数:412艇。

PWSA対人賠償責任団体保険の概要

■補償内容/対人賠償

■保険料/1人乗りモデル:21,000円
2人乗りモデル以上:24,000円

2007年度モデル以降のPWCには被害者救済の観点から、購入時から1年間のPWC対人賠償保険が付帯されております。ただし、購入者が所定の手続きを行なわないと保険の対象になりませんので、ご注意ください。

※対物賠償、船体の補償および搭乗者等の補償はありません。

※PWSA会員登録手続きは保険申込と同時にできます。



NPO法人
パーソナルウォータークラフト安全協会
Personal Watercraft Safety Association
やさしく乗ろうよ、人も自然も大切に。

特定非営利活動法人
パーソナルウォータークラフト安全協会 本部事務局
〒673-8666 兵庫県明石市川崎町1-1 (株)カワサキモータースジャパン内
TEL.078-920-1091 FAX.078-928-4418
<http://www.pwsa-jp.com>